

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21112
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 文学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	哲学の世界 — 哲学の方法と意味		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	赤井 清晃 文学研究科		
4. 開講学期	後期 週1コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 10 月 3 日 (火) ~ 平成 30 年 1 月 30 日 (火) ※10 月 31 日 (火) を除く 16 時 20 分 ~ 17 時 50 分		
個別開講日	1 回目 10/3	2 回目 10/10	3 回目 10/17
	4 回目 10/24	5 回目 11/7	6 回目 11/14
	7 回目 11/21	8 回目 11/28	9 回目 12/5
	10 回目 12/12	11 回目 12/19	12 回目 1/9
	13 回目 1/16	14 回目 1/23	15 回目 1/30
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 100 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	1. イントロダクション 2. 方法(1) 「思想は思想から始めては全然駄目」(森有正) 3. 方法(2) 「現状は資格の無い者が哲学をやっている」(プラトン) 4. 方法(3) 「哲学史について」(ショーペンハウアー) 5. 方法(4) 「哲学の学び方」(ヤスパース) 6. 方法(5) 「シアンス (science)」(パスカル) 7. 意味(1) 倫理学の位置づけ — アリストテレスとレヴィナス 8. 意味(2) 哲学の対象 — 天体と天文学 (ヘーゲル) 9. 意味(3) 聖なる学知 — 哲学と神学 (トマス・アクィナス) 10. 意味(4) ものところ (デカルトとライプニッツ) 11. 意味(5) ものとは (オッカム) 12. 意味(6) 論理学と哲学 (私の「論理学入門」より) 13. 意味(7) 世界の切り取り (ホワイトヘッド) 14. 意味(8) アテネとイエルサレム (シエストフのつぶやき) 15. まとめ		
8. 受講料	2,000 円		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 ( 人) ② 不開講通知日 (7 月 14 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 15 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
14. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> → 広島大学 → 交通アクセス → 東広島キャンパス 広島大学文学部 <a href="http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku">http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku</a>		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。